

2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月14日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績(2020年11月1日~2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	1,018	6.1	15	-	20	-	9	-
2020年10月期第2四半期	959	△4.3	△0	-	△4	-	△10	-

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 10百万円(-%) 2020年10月期第2四半期 △10百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	8.68	8.39
2020年10月期第2四半期	△9.13	-

(注) 2020年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載はしていません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	1,118	458	40.9
2020年10月期	1,148	446	38.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 458百万円 2020年10月期 446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年10月期	-	0.00	-	-	-
2021年10月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日~2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,969	6.3	22	10.5	20	△33.2	9	481.7	8.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P.11「2(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期2Q	1,136,000株	2020年10月期	1,134,000株
② 期末自己株式数	2021年10月期2Q	242株	2020年10月期	242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期2Q	1,135,360株	2020年10月期2Q	1,130,384株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、緊急事態宣言が繰り返し発出され、経済活動は停滞や個人消費低迷が続き、非常に厳しい状況となりました。また、高齢者向けにワクチン接種が開始されたものの、すべての国民への接種には時間を要する状況にあり、さらに感染力が強いとされる変異株拡大が懸念され、依然として収束時期を見通すことは難しく、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2021年2月から4月までの3ヶ月間において、らん鉢取扱金額は1,155百万円（前年同期比25.9%増）と、新型コロナウイルス感染症が発生する前の一昨年とほぼ同等の取扱金額で推移しております。また、胡蝶蘭単体の取扱金額は、前年同期比28.6%増で、さらに毎年需要が高まる4月度単月の取扱金額は、前年同期比120.4%増と、大幅増で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で繰り返し発出される緊急事態宣言により、ブライダルの再延期や各種イベント開催の見送り等、受注件数が伸び悩みました。主力の法人贈答用胡蝶蘭は新規顧客開拓及び既存顧客への提案をオンラインと対面のハイブリッド型の営業体制で取り組むことにより、お客様のニーズに寄り添ったサービスの提供を継続することで、売上高は前年同期比微増で推移いたしました。

ナーセリー支援事業におきましては、オリジナル園芸資材の販売強化に注力し、新規顧客開拓も順調に進めることが出来ました。また、フューネラル事業におきましても新規顧客開拓に注力し、取引先を順調に増やすことが出来たこともあり、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,018,799千円（前年同期比6.1%増）、営業利益15,576千円（前年同期は営業損失653千円）、経常利益20,994千円（前年同期は経常損失4,035千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,851千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10,324千円）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、ブライダルの延期、再延期や、各種イベント開催の見送り等により受注件数が減少いたしました。主力の法人贈答用胡蝶蘭は、年明けから繰り返し発出される緊急事態宣言により、既存顧客先への訪問や対面での提案営業が困難なことから、引き続きオンラインでの対応強化を図り、ニューノーマルの時代に合わせて様々な変化への対応を行いました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は656,821千円（前年同期比2.0%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き当社オリジナル園芸資材の販売強化に注力し、売上高は堅調に推移いたしました。また、昨年開設しました愛知農場では、計画通り3月から本格的に観葉植物の出荷も開始され、順調に生産を進めることができました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は284,560千円（前年同期比8.0%増）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、新規顧客開拓の営業強化に注力し、既存取引先からの紹介等により新たな取引先も順調に増やすことが出来たことから、売上高は堅調に推移いたしました。

しかしながら、葬儀業界の環境としましては、大都市圏を中心に家族葬や密葬等、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が続いており、葬儀単価が下落傾向にある中、新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、葬儀参列者の減少や葬儀規模の縮小が昨年以降続いており、業界全体として大きく影響を受けております。

今後も引き続き既存取引先や葬儀業界関係会社との情報共有を積極的に行いながら、変化していく葬儀業界全体の環境に柔軟に対応していくよう取り組んでおります。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は77,418千円（前年同期比47.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,118,302千円となり、前連結会計年度末と比べ30,261千円減少しました。

流動資産は964,694千円となり、前連結会計年度末と比べ50,649千円減少しました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が58,325千円、仕掛品が31,849千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が123,651千円減少し、貸倒引当金が5,363千円増加したことによるものであります。

固定資産は153,608千円となり、前連結会計年度末と比べ20,387千円増加しました。その主な要因は、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが21,044千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は659,918千円となり、前連結会計年度末と比べ41,749千円減少しました。

流動負債は311,866千円となり、前連結会計年度末と比べ7,841千円増加しました。その主な要因は、買掛金が14,865千円、未払法人税等が10,628千円それぞれ増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が11,656千円、株主優待引当金が2,247千円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は348,051千円となり、前連結会計年度末に比べ49,590千円減少しました。その主な要因は、社債が10,000千円、長期借入金が39,105千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は458,384千円となり、前連結会計年度末と比べ11,488千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益9,851千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の業績予想につきましては、2020年12月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	623,780	500,128
受取手形及び売掛金	230,654	288,980
商品及び製品	38,075	36,046
仕掛品	112,163	144,012
原材料及び貯蔵品	153	153
その他	28,942	19,163
貸倒引当金	△18,425	△23,789
流動資産合計	1,015,343	964,694
固定資産		
有形固定資産	16,644	18,006
無形固定資産		
のれん	25,422	23,881
その他	9,098	27,733
無形固定資産合計	34,520	51,615
投資その他の資産		
その他	90,373	92,305
貸倒引当金	△8,318	△8,318
投資その他の資産合計	82,054	83,986
固定資産合計	133,220	153,608
資産合計	1,148,564	1,118,302
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,715	76,580
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	122,152	110,496
未払法人税等	2,352	12,981
賞与引当金	11,753	12,649
株主優待引当金	3,090	842
その他	82,962	78,317
流動負債合計	304,025	311,866
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	373,751	334,646
その他	3,891	3,405
固定負債合計	397,642	348,051
負債合計	701,668	659,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	140,188	140,336
資本剰余金	92,173	92,321
利益剰余金	214,001	224,814
自己株式	△465	△465
株主資本合計	445,898	457,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	997	1,377
その他の包括利益累計額合計	997	1,377
純資産合計	446,896	458,384
負債純資産合計	1,148,564	1,118,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	959,775	1,018,799
売上原価	560,755	597,872
売上総利益	399,020	420,927
販売費及び一般管理費	399,673	405,350
営業利益又は営業損失(△)	△653	15,576
営業外収益		
受取利息	44	49
受取配当金	64	19
受取助成金	—	5,678
為替差益	—	1,832
その他	302	392
営業外収益合計	411	7,971
営業外費用		
支払利息	632	1,224
持分法による投資損失	2,460	1,289
その他	700	39
営業外費用合計	3,792	2,553
経常利益又は経常損失(△)	△4,035	20,994
特別損失		
たな卸資産処分損	5,273	—
特別損失合計	5,273	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,309	20,994
法人税、住民税及び事業税	2,927	10,561
法人税等調整額	△1,912	581
法人税等合計	1,015	11,143
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,324	9,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,324	9,851

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,324	9,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△368	379
その他の包括利益合計	△368	379
四半期包括利益	△10,692	10,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,692	10,231
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,309	20,994
減価償却費	2,620	3,974
のれん償却額	1,540	1,540
貸倒引当金の増減額(△は減少)	345	5,363
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,591	896
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,612	△2,247
受取利息	△44	△49
受取配当金	△64	△19
受取助成金	—	△5,678
支払利息	632	1,224
社債利息	59	39
為替差損益(△は益)	639	△1,832
持分法による投資損益(△は益)	2,460	1,289
営業保証金の支出	—	△500
売上債権の増減額(△は増加)	12,444	△58,325
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,830	△29,820
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,481	14,865
前渡金の増減額(△は増加)	4,058	—
未払金の増減額(△は減少)	△6,799	578
未払費用の増減額(△は減少)	△634	1,561
その他	1,287	△3,897
小計	△34,279	△50,041
利息及び配当金の受取額	146	96
助成金の受取額	—	5,678
利息の支払額	△725	△1,451
法人税等の支払額	△23,833	△1,895
法人税等の還付額	138	11,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	△58,554	△36,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,118	△3,964
定期預金の払戻による収入	9,203	1,800
有形固定資産の取得による支出	△1,500	△3,840
無形固定資産の取得による支出	△5,499	△20,483
敷金及び保証金の差入による支出	—	△3
敷金及び保証金の回収による収入	263	—
保険積立金の積立による支出	△1,586	△1,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,235	△28,077

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	752	296
長期借入れによる収入	140,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△62,031	△70,761
リース債務の返済による支出	△455	△468
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,265	△60,933
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,475	△125,115
現金及び現金同等物の期首残高	213,032	281,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	218,508	156,615

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生及び重要な変更はありません。